

第4回定期総会が終了 一般会員の皆さんには議案書を同封

第4回定期総会を開催

2月12日(土)に、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター（岩見沢市）の石蔵で、第4回通常総会が開催され、上程された6つの議案が全て承認されました。

定款によって、総会の参加資格は運営会員となっており、昨年12月末の運営会員総数37名のうち、出席が14名、委任状・書面表決書の提出が18名でした。

今回の総会では、通常の議題である事業報告と活動計画のほか、改選期にあたることから役員選任と、マネジメントセンターの本格展開に伴う事務所移転が審議されました。質疑の後の採決では、全ての議題が賛成多数で可決されました。

一般会員・賛助会員の皆さんには、総会の議案書をお送りしますので、詳細は議案書をご覧ください。また、一般の方は、マネジメントセンターで閲覧できるほか、活動報告についてはホームページからもダウンロードできます。

決算

2010年決算は、収支差額(+)が165万円となり、正味財産が200万円を超えました。

これは、マネジメントセンター開設によって、活動の幅と量が拡大したことによるもので、着実に安定した活動の基盤が整いつつあります。

役員改選

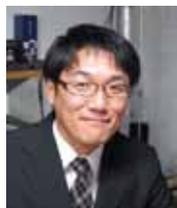
新役員（2011～2012年）が総会で選任され、大橋二郎監事が理事に、熊谷隆文理事が監事となったほか、新たに平野義文さんが理事に就任しました。

また、定期総会後に開催した理事会では、吉岡宏高理事長・植村真美副理事長の再任、大橋理事の副理事長就任が決まりました。

新たに選任された平野理事は、岩見沢

の平野建設(株)の専務取締役で40歳、岩見沢青年会議所会頭を務めるなど岩見沢市での活動経験が豊富で、マネジメントセンターのある岩見沢市内のネットワーク形成での活躍が期待されます。

なお、役員からのメッセージは、次号に掲載する予定です。



本部所在地の移転

当NPOの本部は、2007年の設立から夕張市にある佐藤理事が経営する店舗（本町2丁目のホテルシューパロ横にある文具店・西野回陽堂）に置いていました。当初は、専任職員を確保する活動基盤がなかったことや、設立当時の最大の活動が石炭博物館の保存運動にあったことから夕張市に登記上の本部を設置してきました。

2009年8月に岩見沢市に開設したマネジメントセンターがNPOの窓口として評価が定着してきたことや、活動が夕張市に限らず空知旧産炭地域の全域に展開している状況を考え、理事会で議論した上で、4月1日付をもって本部を岩見沢市へ移転することにしました。

これまで夕張市には、他の自治体では免税となっている法人市民税16万円を納付したほか、市が開催した石炭博物館の見直し委員会への参画、夕張映画祭への人員派遣などで、地元NPOとしての役割を果たしてきました。本部が岩見沢に移転した後も、引き続き、石炭博物館の活動支援や、夕張市内での炭鉱遺産の保全活用について積極的に取り組みます。

DVDもお送りします

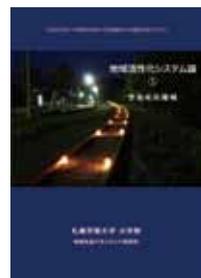
札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科（研究科長は当NPO運営会員でもある太田清澄教授）では、他の3大学（法政大・高知工科大・沖縄大）と連携して、

地域活性化で活躍できる人材の育成を目指したプログラムを展開しています。

これは、「まちづくりリスト」という地域活性化の専門家を育成するための方策を研究するもので、2009～2011年の3年間にわたって、文部科学省の支援を得て展開されています。

テーマが地域活性化であることから、事例研究が重視されていますが、札幌学院大では初年度の北海道の代表事例として、空知での炭鉱遺産市民活動を取り上げて頂きました。

今回、お送りするDVDは、その教材の一つとして当NPOの協力により制作されたものです。大学院講義対応の内容となっていることからちょっと硬めですが、空知産炭地域での市民活動の足跡が端的にまとめられていますので、ご覧ください。



これに関連して、昨年8月には全国4大学から8名の学生・院生が5日間にわたって研修に訪れたほか、2月には高知工科大の教員4名が来訪するなど、新たな動きが見られつつあります。

センターは夏営業時間に

マネジメントセンターは、11月上旬まで夏時間での営業(10:00～18:00)となります。定休日は、火曜日（祝日は開業）です。

人事異動

2月12日 ▷理事長（再任）吉岡宏高▷副理事長（再任）植村真美▷同（監事）大橋二期▷理事（再任）佐藤裕子・三上秀雄▷同（新任）平野義文▷監事（再任）加藤倫朗▷同（理事）熊谷隆文

3月31日 ▷雇用期間満了により退職(事務局員)塩尻圭奈子

4月1日 ▷再雇用2012年3月31日まで(事務局長)酒井裕司▷同(事務局次長)前田亜紀▷同(事務局員)北口博美▷委嘱(研究員)佐藤真奈美